

【オープンキャンパスのご案内】

主の御名を賛美します。

神学校のために、お祈りいただいていますことを心から感謝します。神学校は3月6日に1名の修了生を送り出し、4月6日から1名の新入生を迎え、7名で授業が始まります。良き学びと訓練がなされますよう、お祈りに覚えていただければ幸いです。

さて神学校では、昨年につきこの春もオープンキャンパスを行うこととなりました。今回も普段の授業を見学していただくスタイルです。チャペルや祈祷会、食事の交わりなど、神学校の日常の雰囲気を感じながら、多彩な授業をご覧いただける機会です。ご興味のある方はぜひご来校ください。説明会や学内ガイドなどもあります。たくさんの方のお越しをお待ちしております。

【日時】 2026年4月21日～5月1日

【場所】 日本バプテスト聖書神学校

神学校 校長 加治佐清也

2026年3月21日

.....切り取り.....

参加申し込み

御名前	(男 女)	御教会名
ご住所		Tel.
E-mail		牧師承認印(もしくはサイン)

◇下記表の該当欄に○をお付けください。

◇昼食は以下のいずれかをお選びください。

H : ヘルシー弁当(量少な目) D : デラックス弁当(量多め)

◇料金は 本館宿泊 ¥1,500、 朝食 ¥350、 昼食 H 弁当¥500、D 弁当¥600、 夕食 ¥450 です。

◇お申し込みは、参加希望日の一週間前までに下記まで。(送迎が必要な場合もご連絡ください)

電話 0267-46-4689 / FAX 0267-46-5203 / メール jbbf.jbbc@gmail.com

		朝食	昼食	夕食	宿泊	出席する授業
4月20日	月	/	/	/		例)2年の7～8限、1年の1～2限を希望する場合 ➡「2年7, 8。 1年1, 2。」
4月21日	火		H・D			
4月22日	水		H・D			
4月23日	木		H・D			
4月24日	金		H・D	/	/	
4月27日	月	/	/	/		
4月28日	火		H・D			
4月29日	水		H・D			
4月30日	木		H・D			
5月1日	金		H・D	/	/	

		学年	一時限	二時限	三時限	四時限	五時限					自由 16:30~ 夕食 18:00~ お風呂 (火・木) 20:00~ 就寝 23:00
			7:40~	8:30~	9:20~	10:10~	11:00~	六時限	七時限	八時限	九時限	
火	4/21	4年後期						現代神学 加治佐師				
		4年前期			福音と文化研究 加治佐師							
		3年	ローマ書研究 小川師									
		2年				教会史 I 三谷師		教会史 I 三谷師				
		1年				ギリシャ語入門 I 小川師						
水	4/22	4年後期										
		4年前期		宗教の神学 三谷師								
		3年		組織神学IV 加治佐師								
		2年						聖書解釈学 小川師				
木	4/23	4年後期						伝道学 スミス師	英書講読 スミス師	賛美・ 合唱 加治佐師 ・恵姉		
		4年前期		新約聖書釈義 小川師								
		3年										
		2年										
		1年	論述入門 小川師									
金	4/24	4年後期			新約聖書神学 小川師							
		4年前期										
		3年										
		2年	ギリシャ語講読 I 小川師									
		1年			新約聖書通論 I ハーゲット師			新約聖書通論 I ハーゲット師				

		学年	一時限	二時限	三時限	四時限	五時限					自由 16:30~ 夕食 18:00~ お風呂 (火・木) 20:00~ 就寝 23:00
			7:40~	8:30~	9:20~	10:10~	11:00~	六時限	七時限	八時限	九時限	
火	4/28	4年後期	旧約聖書神学 上田師						旧約聖書釈義 上田師			
		4年前期	弁証学 白井師									
		3年	ローマ書研究 小川師			ヘブル語入門 I 安藤師		ヘブル語入門 I 安藤師				
		2年				組織神学 II 白井師		組織神学 II 白井師				
		1年				ギリシャ語入門 I 小川師				旧約聖書通論 I 安藤師		
水	4/29	4年後期	旧約神学 上田師	JBBF信仰箇条 白井師				弁証学 白井師				
		4年前期		創世記研究 上田師								
		3年										
		2年						聖書解釈学 小川師				
木	4/30	4年後期						福音と文化研究 加治佐師			賛美・ 合唱 加治佐師 ・恵姉	
		4年前期		新約聖書釈義 小川師								
		3年	組織神学IV 加治佐師									
		2年				聖書史地理 白石師		聖書史地理 白石師				
		1年	論述入門 小川師									
金	5/1	4年後期			新約聖書神学 小川師							
		4年前期			現代神学 加治佐師							
		3年	新約聖書緒論 白石師									
		2年	ギリシャ語講読 I 小川師		キリスト教福祉論 中川師			キリスト教福祉論 中川師				
				キリスト教概説 濱田師			キリスト教概説 濱田師					

授業内容(五十音順)

英書講読

英語で書かれたキリスト教関連の文献を精読し、その内容を理解・考察する。英語文献を原語で読む力を養いつつ、将来の学びや国際的交わりの基礎を培う。

旧約聖書釈義

ヘブル語の基本的要点を確認しつつ、解釈学の学びを踏まえて旧約各文学形態からの釈義を試みる。釈義から説教の素材を得る方法を身につけることと、釈義を重視した神学的検討ができることを目指す。

旧約聖書神学

旧約聖書の神学的思想体系を確認しながら、釈義を踏まえて旧約の民の時代と文化とを確認する。そこから旧約聖書の今日的な意義と使信とを、現代の大きな課題と思われるものを取り上げながら確認する。

旧約聖書通論 I

聖書の内容を把握するために、ひたすら聖書を通読する。個所として「創世記」から「エステル記」まで。とりわけ、契約の概念から神と人間との関わりとその展開とに留意しながら、各書の内容を把握する。

教会史 I

初代教会から宗教改革前までの教会および教会を取り巻く世界の歴史を概観する。特に、教会が時代の流れの中でどのように世界宣教が拡大し、またこの世とどう向き合って行ったのかをバプテストの立場の視点で考察する。

ギリシャ語講読 I

基礎文法を踏まえて、綺語論や文章論を学びつつ聖書を読む講座。比較的短く読み易い箇所、を丁寧に分析し、ギリシャ語に関して注解書の記していることに対し、自分で判断できるようにする。

ギリシャ語入門1

聖書言語であるギリシャ語は必須科目。参考書として、J・G・メイチェン著『新約聖書ギリシャ語原典入門』など。ギリシャ語自体の把握と、読み書きの修得および直説法未来能動態あたりまでの学習を内容とする。

キリスト教概説

神学校での学びにあたって、キリスト教信仰への視点を確認する。また神学諸部門相互の関連を学び、位置付けを確認する。併せて、キリスト教用語と信仰内容の基本的な理解、教会と時代などを学ぶ。

キリスト教福祉論

世俗の障害者論をわきまえ、聖書的な心身障がい者論を追求する。組織神学の間人論から得られる聖書的な人間観・身体観を土台にして、人々を理解するための留意点や伝道上のポイントを把握する。

現代神学

近代神学と同質の現代神学を批判的に分析する。鋭敏な時代感覚と、高度な学問性を誇る現代神学の、特にその思惟構造に留意しながら主要な神学者の神学思想を学ぶ。

賛美・合唱

礼拝学の理解を踏まえ、正しい賛美原理、発声法等に基づき、実際に賛美し、賛美の心、技術を学ぶ。

JBBF信仰箇条研究

複雑に揺れ動くキリスト教界にあって、バイブル・バプテストとしての信仰の内実を十分理解する。信仰箇条を丁寧に分析し、その特質や他教派との相違を認識し、継承すべき信仰の内容を理解する。

宗教の神学IV

「数多くある諸宗教とはいったい何なのかを、キリスト教信仰の立場から問い、研究する神学」である。宗教多元主義の時代にあって、なぜキリスト教信仰でなければならないのかの客観的な説明が求められる。そのために諸宗教を客観的に学ぶ。

新約聖書釈義

釈義の歴史で問題となった箇所を検討する。また時代と文化をわきまえて語るため、ギリシャ語を活用しながら、釈義から説教の素材を得る方法を身につけることと、釈義を重視した神学的検討ができることを目指す。

新約聖書神学

神学史を踏まえて、新約神学の聖書的な方法を考察する。さらに新約聖書の神学的思想体系を考察し、新約聖書の今日的な意義と使信とを、現代の大きな課題と思われるものを取り上げながら確認する。

新約聖書緒論

靈感された新約聖書の信頼性を学ぶため、新約聖書の正典性、写本と翻訳、本文批評などを取り上げ、各書に関する神学的な問題を理解する。あわせて、新約聖書の全体的構造と使信とを理解する。

新約聖書通論 I

聖書の内容を把握するために、ひたすら聖書を通読する。個所として「福音書」から「使徒の働き」まで。とりわけ旧約聖書との関わり、及び神の国の中心的なメッセージに留意しながら預言の内容を把握する。

聖書解釈学

聖書の内容を体系的に把握するために、解和学概説、また原則を踏まえて、聖書的解釈のあり方を学ぶ。また解釈演習も含める。聖書語学の知識を活用しながら、聖書の教えを体系的に汲み取る方法を学ぶ。

聖書史地理

聖書の内容を体系的に把握するために、旧新約聖書の主要な文化的地理的背景を確認しながら、イスラエル史、イエスの宣教と福音の拡大を確認し、聖書の世界を総合的に理解することを目指す。

創世記研究

旧約聖書の内容を体系的に把握するため、聖書の基盤である創世記を通じて天と地の造り主、造り主に対する信仰、及び、イスラエルの信仰の根幹を学び、族長に対する主のお取り扱いを通じて、壮大な全地の主なる神を理解する。

組織神学 II

聖定論、創造論、天使論、人間論、墮落論までを内容とする。神学の理解と方法を確認し、キリスト教信仰がもたらす歴史観や人間観に関して学び、現代の重要な課題を取り上げ、神学的考察を試みる。

組織神学 IV

教会の定義と、組織、使命までを内容とする。神学序説、人間論や救済論と、教会論との関わりを踏まえて、バイブル・バプテストとしての視点から教会の意義、および教会の本質論を学ぶ。

伝道学

生来の人間の特徴を踏まえながら、個人的伝道にいたる過程を学び取る。信頼関係を築きながら人々と関わり、イエスを主と告白するとはどういうことかを認識し、主に導かれて行く過程の霊的留意点を把握する。

福音と文化研究

的確に福音を語るために異なる文化にどのように接し、宣教に展開して行くかを考察する。併せて、継承すべき信仰の本質を認識することを心がける。

弁証学

弁証学史をわきまえ、時代の思想と対峙するために理性への罪の影響を強調する。理性観を視点にし、時代の思潮にどのようにかわるか聖書的な信仰の擁護のあり方を追求する。

ヘブル語入門 I

J・ワイングリン著『旧約兄ブル語入門』などを参考に。ヘブル語自体の把握と、読み書きの修得、人称代名詞あたりまでの学習を内容とする。

論述入門

各部門に課せられるレポートや論文作成に備える。問題意識の立て方今考えを深めることをここでは学ぶ。そのために書物における論理構造を理解し分析しながら、論理的に考えを伝えるとはどういうことかを学ぶ。

ローマ書研究

キリスト教の展示場とも称される、ローマ書の全体構造と思想とを把握する。またローマ書におけるキリスト教信仰の提示の仕方と言葉の選び方を考察し、聖書の思想を神学的に把握することを学ぶ。